

第8回（昭和62年度）研究助成金，海外派遣・ 招聘補助金受領者一覧

（受領者の所属等は申請時）

I 研究助成金（総額：1,200万円，1件100万円，12件）

「細菌の細胞内 PH 調節機構の遺伝学的研究」	（千葉大・薬・助教授）	小林 弘
「H ⁺ -ATPase の構造と機能およびその調節機構」	（阪大産業科学研・助手）	前田 正知
「 α , β -エポキシスルホキシドの求核剤による開裂反応を基盤とする カルボニル化合物ホモロゲーションの新技术法」	（東理大・薬・助手）	佐藤 毅
「DNA を標的とする薬物の分子設計」	（東大・薬・助手）	橋本 祐一
「中枢神経系におけるカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) 免疫活性と受容体の個体発生学的発現機構」	（広島大・医・講師）	稲垣 忍
「新規光学活性 α , β -不飽和スルホキシド類の合成と不斉付加反応への展開」	（富山医薬大・薬・助手）	荒井 謙次
「生体アミノおよびアミノ酸の特異的高感度蛍光定量試薬の開発研究」	（北大・薬・助教授）	三浦 敏明
「炎症における肥満細胞の機能の多様性に関する研究」	（京大・薬・教授）	市川 厚
「カルシウム結合タンパクによる細胞骨格タンパクの調節に関する研究」	（信州大・繊維・助教授）	藤井 敏弘
「ペプチド作動性神経による心血管系調節機構」	（筑波大・基礎医学系・講師）	斉藤 亜紀良
「生体膜に存在するアニオン輸送系の解明——Cl ⁻ 輸送 ATPase に関する 分子生物学的研究——」	（岡山大・薬・講師）	池田 己喜子
「高ひずみ化合物の原子価異性化を利用した中員複素環化合物の合成とその応用」	（北陸大・薬・講師）	栗田 城治

II 研究者の海外派遣補助金（総額：200万円，1件40万円，5件）

「微生物産物のバイオテクノロジーに関する国際会議 新規な薬理，農生物活性」 '88.3.13~16 於 San Diego, California U.S.A.	（東大・応徴研・助教授）	岩崎 成夫
「神経毒国際会議 '88」 '88.4.11~15 於ノッチンガム（英国） （東京都臨床医学総合研・研究室長）		篠崎 温彦
「第1回金属の毒性と癌原性の分子機構に関する研究集会」 '88.9.19~22 於 Urbino, Italy	（北里大・薬・教授）	井村 伸正
「分子識別：その化学および生化学における役割」に関する国際シンポジウム」 '88.8.24~27 於 Hotel Sopron, Sopron, Hungary	（阪大・薬・教授）	冨田 研一
「ヨーロッパ植物化学会国際シンポジウム蕈苔類の化学および化学分類」 '88.8.31~9.2 於 Saarbrücken, W. Germany	（徳島文理大・薬・助教授）	通 元夫

III 海外からの研究者招聘補助金（総額：150万円，1件75万円，2件）

「日本薬学会第108年会」 '88.4.4~6 於広島市	（ETH-チューリッヒ・教授）	Peter P. Speiser
「第16回天然物化学国際会議」 '88.5.29~6.3 於京都市	（ハーバード大・教授）	岸 義人